

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 大洗町立夏海小学校

担当教諭名 庄司 恭子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成 23年 2月 1日 ( 火 ) 10:40 ~ 14:00
対象学年と人数	全校児童 (1~6年生) 80名
派遣講師名と出身国	ドゥダヴィッチ・アリーナ(ベラルーシ) リュウ・ミョウ(中国 内モンゴル系) アトラ・アルデカニ(オーストラリア) 山形 正子(コーディネーター)
活動の内容	○低・中・高学年に分かれての交流 ・各国のことを知る (国旗・文化・言葉・学校の様子・質問など) ・遊びやダンス, ゲーム ○講師の方とのふれあい 給食 ○全校児童との交流 ・中国の歌と踊り ・ベラルーシのアニメーション鑑賞 ・オーストラリアの遊び ・子ども達のお礼の言葉と音楽発表
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 様々な国の文化を知ることができたり, あまりよく知らない国のことを身近に感じたりすることができるよい機会となりました。
生徒・保護者等参加者の感想	・むずかしいベラルーシ語教えてもらってうれしかったです。(低学年) ・日本の「ふくわらい」みたいなゲームが楽しかったです。すごく強いお酒があることや, 羊のお肉のことを聞いて, モンゴルに行ってみたいと思いました。民族衣装がすてきでした。(中学年) ・オーストラリアには, コアラやワラビー, カンガルーなどかわいい動物がいていいなあと思いました。オーストラリアは, 日本より大きい国だけど人口は日本より少ないこと等, いろんなことを知りました。
先生の感想	・ 講師の方のお話で, 日本と外国の文化の違いを感じることができ, 大変有意義な活動ができた。お話を聞くだけでなく, ゲームや遊びなど体を動かす時間もあつたので, 子どもたちは夢中になっていました。 ・ 話をするために, 具体物や映像を見せてくださったり, 様々な準備をしてくださったりしてありがたいことだと思いました。 ・ 講師の方が, パソコンのRGB端子がないものを持ってこられたため, プロジェクターに映すことが困難だったり, パソコン本体に入っている音楽をマイクでひろったため, 音を大きくすることができなかつたりしたことが残念でした。

